

あおもり市議会だより

ぎかいの森

平成29年第2回定例会・第1回臨時会の内容を
よりわかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

特 集

Vol. 2

平成29年8月

子育てする人

in あおもり

目 次

特集	P 2
可決された主な議案	P 4
その他、市議会からのお知らせ	P 5
傍聴者の声から	P 5
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

写真：NPO法人「子育てオーダーメイド・サポートこもも」
主催による「おさんぽひろば はれるや」

特

集

子育てする人

in あおもり

今回の特集は子育てする人がテーマ。先輩ママを初め絶賛子育て中のママ、プレママなどさまざまなメンバーにより県内各地で子育て支援活動に取り組まれているNPO法人「子育てオーダーメイド・サポートこもも」の活動現場にお邪魔しました。活動を始めるきっかけ、取り組み内容、支援をしている中で感じる課題や行政に望むことなど、将来に向けての思いも含めて、インタビューに熱く応じてくれました。



写真は、今回の取材を快く引き受けていただいたNPO法人こもも理事長の橋本歩さん（前列左）と、取材を担当した長谷川委員（後列左）、中村委員（後列右）、橋本委員（前列右）。

青森で、楽しく子育てしようよ！
ひとりで頑張りすぎないで。
仲間はたくさんいるよ♪

Let's
interview!

子育て支援をしようとしたきっかけは？

初めは、仲間と一緒に子育てを楽しむためのサークルでしたが、それまでの活動を経て産前産後の支援が手薄だと気づき、2007

年12月に現在の団体を立ち上げました。

まずは研修会を行い、本格的に産前産後のサポートに取り組んだのは2011年からはなります。「こんなに体がつらい、休めないと思わなかった」と出産を終えてから振り返る方は多いです。さまざまな事情で、家族のサポートが受けられない方もいます。そのような方の手助けになればと考えていました。

インタビュー中のNPO法人こもも理事長の橋本歩さん

〈現在の取り組みは?〉

①産前産後のヘルパーの養成と妊産婦・育児中の家庭へのヘルパー派遣事業、②託児事業（団体や企業様向けで個人の託児は他のベビーシッターの団体の紹介）、③御近所の親子やおじいちゃん、おばあちゃんも来られる「おさんぽひろば はれるや」事業、④自分の責任で自由に遊ぶをモットーに、大人も子どもも真剣に遊べる空間を提供する「プレーパーク事業」に取り組んでいます。



〈子育て中の親の悩みについて〉

子育ての悩みは人それぞれです。妊婦期から産後の暮らし、子ども

との生活、発達まで多岐にわたります。環境面では、ゼロ歳児から小学生までのきょうだい共有して遊べる場所や冬の遊び場が少ないといったのをよく聞きます。

〈支援者側の悩みについて〉

以前よりNPOの活動への理解などが進み、行政や市民からの協力も多くなってきました。しかし、広報や活動にかかる費用の捻出や活動の担い手が少ないことなどは、どの団体も共通した悩みです。

〈今後の展望や夢は?〉

青森で子育てをしてよかった、楽しかったと思ってもらえることがまずは一番です。安心して赤ちゃんを産めること、産後はゆとり休める環境を整えることが当たり前になることを望んでいます。ほかには、子どもたちが自由に遊べる場所、プレーパークが歩いて行ける場所に常設であるといいなと思っています。

〈青森市や市議会に

望むことは?〉

サポートを利用したい家庭への情報提供、費用補助などがあると、家庭状況や収入に左右されず、さらに多くの方に喜んで利用していただけるのではないかと考えています。そして本当の、子どもの最善の利益とは何かを一緒に考えてほしいです。



「おさんぽひろば はれるや」は、子どもたちと子育てママが気軽にコミュニケーションできるスペースとなっています。

青森市議会で

可決された主な議案です。

●平成29年第2回定例会

会期26日間 6月5日～6月30日

●平成29年第1回臨時会

会期2日間 7月10日～7月11日

●第2回定例会で可決・同意・承認された議案等

- 市長提出議案19件中……………19件
(可決16件、同意2件、承認1件)
- 議員提出議案10件中……………8件
- 諮問6件中……………6件
(棄却すべきと答申)
- 請願4件中……………4件
(採択)

●第1回臨時会で可決された議案等

- 議員提出議案4件中……………3件
(否決された1件は、アウガ問題の調査に関する決議の再議の件)
- 請願1件中……………1件
(採択)

その1

青森市屋内グラウンド冷暖房設備を更新します

冷温水配管の劣化により、冷暖房設備に支障が生じている盛運輸サンドーム（青森市屋内グラウンド）について、冷暖房設備の更新を行うための経費として、3千277万8千円が補正予算として追加計上されました。

なお、平成29年度一般会計補正予算は、原案のとおり可決され、その結果、青森市の平成29年度の一般会計の予算額は、次のとおりとなりました。



盛運輸サンドーム

●平成29年度

- 青森市一般会計補正予算
補正予算額 7千62万2千円
- 補正後の予算額
1千198億2千171万1千円

その2

契約議案を議決しました

青森市議会では、条例により予定価格1億5千万円以上の工事等に係る契約について、地方自治法に定める議決を行うことになっています。

平成29年第2回定例会では、6件の契約について、その内容を審議し、議決しましたが、そのうちの主な内容を紹介します。

青森市スポーツ広場多目的グラウンド人工芝整備工事

契約金額 2億4千621万428円

青森市立小柳小学校校舎等改築工事

契約金額 19億9千692万円

旧青森市中央部・西部学校給食共同調理場解体工事

契約金額 2億2千740万6千330円（中央部）

2億537万8千630円（西部）

330円（中央部）

2億2千740万6千330円（中央部）

2億537万8千630円（西部）

330円（中央部）

2億537万8千630円（西部）



小柳小学校パースイメージ

その3
臨時会

第1回臨時会が開かれました

第1回臨時会では、第2回定例会で可決された「アウガ問題の調査に関する決議」について、市長に専属する予算の調製権、提案権を脅かすとして、再議*に付すために招集されました。

同議案は、採決の結果、否決となりましたが、その後「100条調査権を付与した特別委員会の設置を求める請願」の提出に伴い、新たに「アウガ問題の調査に関する決議」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決されました。

このほか、正副議長の辞職勧告決議も提出、可決されるなど、審議は翌日午前5時過ぎまで、約19時間に及びました。

*再議とは…議会の議決に異議があるときに長が再度の審議をを求めるもので、予算に関するものについては、出席議員の3分の2以上の賛成が必要となります。

■以上、可決された主な議案等をお知らせしました。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その他、市議会からの
お知らせです。

●**全国市議会議長会の表彰が行われました**

第2回定例会にて、長年市政の振興に努められた次の方々には表彰状の伝達が行われました。

【議員在職15年以上】

館田 瑠美子 木下 靖
長谷川 章悦 丸野 達夫

小倉 尚裕
秋村 光男

【議員在職10年以上】

奈良岡 隆
中田 靖人
中村 節雄
村川 みどり



議場での表彰状の授与

傍聴者の声から

平成29年第2回定例会の傍聴者数は80人、平成29年第1回臨時会の傍聴者数は16人でした。傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

- 傍聴者が余りにも少なく驚きました。傍聴者の増を望むのでしたら、開催日に一度祝・祭日を入れたらいかがでしょうか。
- 議会を傍聴して、議員も市役所側の答弁も真剣に感じました。

議会を傍聴しませんか？

議会はどなたでも傍聴できますので、当日、議会棟1階「傍聴者入口」の受付で、傍聴券に住所・氏名・年齢を記入し、入場してください。また、市議会ホームページでは本会議の生中継と録画映像の配信をしています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会事務局：734-5743

質
問
・
質
疑

こんなことを

聞きました。

第2回定例会において行われた、一般質問及び予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

● 質問・質疑を行った議員・委員数

● 第2回定例会

一般質問 22名

予算特別委員会 24名

議案質疑 2名

● 第1回臨時会

再議に対する質疑 2名

※本会議での一般質問等の様子は、下のQRコードからアクセスできる議会中継でご覧いただけます。



青森市行財政改革プラン
及び財政プランについて

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 市長の公約を実現するためにも行財政改革は必要と考えますが、市の考えをお示しく下さい。

A 市では、青森市行財政改革プラン2016については、進捗状況等の検証をしながら必要に応じて毎年度見直しを図ることとし、青森市財政プラン2016に掲げた中期財政計画についても、予算編成の都度、財政環境の変化を反映し時点修正しています。今後は、新たな総合計画の策定を念頭に、新たな行財政改革プラン及び財政プランの策定についても、並行して検討を進めたいと考えています。



あもりタウンミーティングの参加対象について

日本共産党 山脇 智

Q あもりタウンミーティング事業は、参加者の対象範囲も連合町会等に任せているために、地域住民が参加できる地域とできない地域があります。市の事業は市民に対して平等であるべきであり、地域住民であれば誰でも参加できるようにするべきだと思いますが、市の見解をお示しく下さい。

A 市では、タウンミーティングの事業の趣旨、目的から見ても、連合町会等に参加者の範囲を判断していただくことについては妥当なものと考えており、現時点で見直す考えはありません。



平和事業について

日本共産党 藤原 浩平

Q 市長が平和大使の廃止を打ち出したことに大きな憤りと失望を感じましたが、それだけにとどまらず、平和首長会議と日本非核宣言自治体協議会を脱退したと聞きました。その理由をお答えください。

A 市では、平和事業として、戦没者慰霊祭の開催や、平成27年度に拡充した平和大使の派遣等を行ってきましたが、平成29年度当初予算編成において平和事業全体の見直しを行う中で、新たな市長の就任をも踏まえ、両団体への加盟については一旦見直すべきと判断し、脱退届を提出したものです。



災害支援型自動販売機の設置等について

公明党 渡部 伸広

Q 近年、自動販売機の中には、災害時に被災者に対し無料で飲料を提供する災害支援型紙コップ式自動販売機というものがあり、災害時に避難所等でお湯を提供できる大きなメリットがあります。この自動販売機の設置及び災害時応援協定の締結を検討すべきだと思いますが、市の考えをお示しくください。

A 災害時に避難所施設等へお湯を提供できる自動販売機の設置及び協定の締結については、被災者支援方法の強化に資する有効な手段の一つと考えられますので、今後の検討の中で参考にしてまいります。



防犯カメラの設置について

社民党 藤田 誠

Q 防犯カメラには防犯効果が認められることから、市として設置する考えはないか、お示しくください。

A 現在、市では、道路冠水の監視用として5カ所の市道にカメラを設置していますが、防犯目的のカメラは設置していません。防犯カメラの設置は犯罪の発生抑止が期待されますが、被撮影者のプライバシー権を侵害するおそれがあり、その設置は自治体の判断に委ねられているため、地域の治安情勢や特徴を詳細に分析した上での慎重な対応が必要と考えています。



市職員への禁煙指導について

新政無所属の会 奈良岡 隆

Q たばこ対策は非常に重要な施策であると考えていますが、率先して禁煙に取り組むという意味で、事業所である市役所は、職員に対してどのような禁煙指導を行っているのかお示しく下さい。

A 市では、禁煙したい人に、医師、薬剤師、保健師が個別にサポートする卒煙サポート塾を実施しているほか、定期的に元氣プラザ、アウガまちなか保健室において禁煙相談を行っています。職員に対しては、これらの事業を紹介する形で禁煙の啓発を行っています。



今回の6月補正予算の規模について

新政無所属の会 奥谷 進

Q 今回の補正予算の規模が過去3年の補正規模と比較して小さくなっているのは、市長が財政規律に配慮した予算としたものと推察しますが、今回の補正予算編成に当たっての考え方を伺います。

A 過去3年の6月補正予算は、本来当初予算に計上されるべき事業などにより予算規模が大きくなっており、今回の補正予算は、議員の懸念する新規の政策的事業を断念したものではないことを御理解願います。市では、引き続き適時適切な判断のもと、必要な補正予算を編成し、取り組んでまいります。



消防団機械器具置き場のトイレの水洗化について

日本共産党 天内 慎也

Q 消防団機械器具置き場のトイレのうち水洗化されていないものについて、下水道等の集合処理にやらない地域においては、環境の面から簡易水洗化を進めるべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A 同トイレの簡易水洗化について、現段階では下水道未整備地域のくみ取り式トイレの改修は考えていませんが、下水道管が布設された際には速やかに水洗化するとともに、老朽化等により同置き場を建てかえる際には、水洗トイレの設置も視野に入れ、関係部局と協議してまいります。



アウガに設置する 総合窓口の機能について

市民クラブ 木下 靖
きのした やすし

Q アウガに設置する総合窓口におけるワンストップサービスの内容についてお示しください。

A アウガでの総合窓口については、利便さ、わかりやすさ、早さのバランスのとれたサービスを目指し、出生・死亡・婚姻等のライフイベントに関連した申請等の手続の可能な限りの集約、手続案内や記載支援、受付窓口への案内等を行うフロアマネージャーの配置、申請等が簡単に早くできるような複数の申請書等の統合、現在土曜日に実施している証明書の交付等の開設日の拡大などを検討しています。



新中央埠頭改良工事完成 後の観光施策について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q 今年度完成の青森港新中央埠頭改良工事により、さらに大きなクルーズ客船の寄港、着岸が可能となります。同埠頭の供用開始後、クルーズ客船の乗船客へのおもてなしについてお示しください。

A クルーズ客船の乗船客に対する埠頭でのおもてなしについては、周辺自治体、地元高校生やさまざまな関係団体との連携により実施する予定であり、青森港への寄港回数の上り増加を目指し、来青されるお客様に青森の旅を満足していただくような受け入れ態勢の充実強化に努めてまいります。



アウガ問題に対する調査 について

新政無所属の会 中村 美津緒
なかむら みつお

Q アウガ問題に対しては、まだ調べられることはたくさんあり、市、議会それぞれがすべき行動もあると思います。この問題の解決のためにも、調査ができる権限のある委員会を設置し、調査すべきと考えますが、市の考えを示してください。

A 市としては、アウガ問題に関する調査特別委員会での報告書とおり、市の権限の範囲内においてさらなる事実の解明に努め、必要に応じ適切な措置を講じることについては真摯に対応していきますが、調査の場の設置については申し上げる立場にないと考えています。



パサージュ広場の運営について

新政無所属の会
丸野 達夫
まるの たつお

Q アウガへの窓口機能の移転や商工会議所の駅前移転等により、中心市街地へ来られる人の増加が予想される中、市では、今後のパサージュ広場の運営について、どのように考えているのかお示しく下さい。

A 市ではパサージュ広場は、将来起業しようとする事業者の育成に一定の効果을上げてきたものと認識しており、駅前周辺地区のにぎわい創出の場として、より魅力のある同広場の運営に向けた方策等を、関係団体等と相談しながら研究してまいります。



道の駅アップルヒルの改修について

自由民主党
長谷川 章悦
はせがわ しんえつ

Q 道の駅アップルヒルは開設から21年が経過し、メインである産直施設も狭く使いづらくなってきました。周辺の道の駅等がリニューアルしていく中で、他に負けないよう構想を練り、早目の改修が必要と思いますが、市の考えを示してください。

A 道の駅アップルヒルは老朽化が進んでおり、今年度は屋根の修繕を行います。地域間競争が増す中でその存在意義を維持していけるよう、株式会社アップルヒルとも相談の上、施設の拡充に向け取り組んでいきたいと考えています。



国体開催に向けてのふるさと納税の活用について

自由民主党
中田 靖人
なかた やすひと

Q 2025年に本市で実施予定の国体競技の開催にかかる経費をどのように捻出していくかは、市にとって大きな課題と考えますが、ふるさと納税を活用し寄附金を募り、それを積み立てるといった方法は可能か、お示しく下さい。

A 国体開催に当たっては、ことし開催した愛媛県などで、協賛金を募り基金を設置しているほか、本県でも今年度基金を設立したと聞いています。市でも、受け入れたふるさと納税を基金に積み立て、そこから繰り出して使用するなどの柔軟な対応は可能と考えています。



教員の多忙化解消について

社民党 齋藤 憲雄
さいとう のりお

Q 教員の多忙化対策として、校長は教員の出退勤の実態を把握する必要があると思いますが、教職員の勤務時間の割り振りの権限を校長に委任することについて、教育委員会の考えをお示しください。

A 現行においても校長は、教員の勤務時間の管理において権限を有しており、実質委任されているものと考えています。教育委員会としては、この長時間労働の実態を重く受けとめ、校長が職員の勤務時間の管理について、指導できるよう努めてまいります。



奨学金等の周知について

無所属 橋本 尚美
はしもと なおみ

Q 希望の進路を断念する中学生がないよう、教育委員会として奨学金や給付金、貸付制度など全てを網羅した一覧を「広報あおもり」の特集で情報提供したり、校長会や他の機会を通じて生徒や保護者に説明できないか、お示しください。

A 就学支援に関連するさまざまな制度の周知については、関係部局と協議した上で「広報あおもり」等による周知の実施のほか、校長会、学校訪問、進路説明会等を通して丁寧な説明できるようにしたいと思います。



学校における食育等（朝食の欠食）について

公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

Q 国の食育推進基本計画には、朝食を欠食する子どもゼロを目指すがありますが、本市児童・生徒の朝食の欠食状況と、それに向けた家庭との連携についての教育委員会の取り組みをお示しください。

A 本市においては、朝食を食べていない、ほとんど食べていないとした小学生が3.9%（約540名）、中学生が6.4%（約490名）いるため、「早寝早起き朝ごはん」のスローガンによる子どもたちへの指導のほか、家庭との連携に向け学校通信や保護者会等により朝食の意義と必要性を啓発しています。





中学生への労働関係法規等の講義の実施について

社民党 仲谷 良子

Q 学生でも、いわゆるブラックバイトなどに関する労働関係法規等の理解は必要と考えますが、厚生労働省の同法規等に係る講師派遣制度を活用し、中学生に対して講義を行うことについて、教育委員会の見解を示してください。

A この講義は、経験豊富な職員が働く人たちを守る法律について具体的な事例を示しながらわかりやすく解説するもので、中学生にとって大変有意義な内容であることから、教育委員会としては、今後も学校訪問や各種研修会等を通して、同講義の周知に努めてまいります。



いじめ防止対策審議会の報告書案について

新政無所属の会 小倉 尚裕

Q いじめ防止対策審議会の報告書案で、浪岡中学校生徒の自殺の原因とした思春期鬱という表現は適正ではなく、いじめがあつて初めてそのような状態となるものと考えますが、この思春期鬱の表現についての認識を示してください。

A 新しく選任される同審議会委員には、同報告書案の思春期鬱という表現に対し御遺族の納得が得られていないことなどの、御遺族のお気持ちを十分に伝えた上で、継続して審議していただきたいと考えています。



いじめに対する相談体制の強化について

公明党 赤木 長義

Q いじめから本市の子どもたちを守るための取り組みとして、教育委員会の考える子どもの相談体制の強化について、その概要をお示ください。

A 教育委員会では、子どもの相談体制の強化として、電話相談等の受け付けに加え、スクールカウンセラーのさらなる活用や家庭へのいじめ防止の啓発等を行っているほか、学校でも子どもと丁寧な変化に気づくための面談やアンケート等に加え、今年度から新たにいじめ防止推進教師への研修会等の取り組みを行っています。



小学校での着衣泳の授業 について

自民清風会 館山 善也

Q 子どもの水難事故防止のための小学校での着衣泳の授業の取り入れについては、昨年度、教育委員会からは、諸条件が整う学校から実施していくとの答弁でしたが、現在の進捗状況をお示しください。

A 教育委員会では議員の指摘を受け、平成29年3月に着衣泳授業における安全指導のためのガイドラインを作成し各学校に配付したほか、着衣泳の研修講座も実施しました。今年度はプール設置校で着衣泳の授業に取り組みますが、次年度以降は未設置校でも取り組めるよう、努めてまいります。



化学物質過敏症*への対策 について

日本共産党 村川 みどり

Q 市営住宅改修工事中に発生した化学物質過敏症の症状を発症した方への対応で「市の工事で悪くなることはない、今までもない」と言った市の対応は適切であったのか、その認識をお示しください。

A 市では、相手方には、修繕工事と体調不良との因果関係が判断できないことをお伝えしたのですが、今後、施工業者には法令に適合した材料の使用の徹底と、化学物質等の影響には個人差があることを認識いただいた上で、工事の実施を近隣住人へお知らせするなどし、対応してまいります。

*化学物質過敏症：何らかの化学物質に反応し、健康被害を引き起こされるもので、多くの潜在患者がいるものと見られています。



駒込ダム建設の進捗状況 等について

市民クラブ 竹山 美虎

Q 集中豪雨などで川の水かさが増し、堤防を溢水する被害が多発しており、市民の安全・安心のため、県が進めている駒込ダムの早期完成を市から強く働きかけてほしいと思いますが、駒込ダム建設の進捗状況をお示しください。

A 駒込ダムは昭和57年度に国の補助事業に採択され、これまで地質調査やダム設計等を行い、平成14年度から工事用道路の建設工事に着手していますが、その進捗率は平成28年度末時点で約22%であり、来年度以降、ダム本体の建設工事に着手する予定と聞いています。





アウガへの窓口移転後の バスダイヤについて

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

Q アウガへの窓口移転後は、通勤する職員や市民により青森駅方面に向かう人がふえるため、油川や新城方面からのバスダイヤの見直しが必要と考えますが、市の考えをお示してください。

A 青森駅前周辺エリアは、本市の交通拠点としてバスの必要便数は現時点で十分確保されていると考えられており、直ちにアウガへの窓口移転にあわせたダイヤ改正を行う予定はありません。移転後においては、アウガ前及び周辺停留所の乗降状況等を検証し、必要に応じてダイヤ改正に反映してまいります。



新城山田地区への太陽光 発電所の建設について

日本共産党 館田 瑠美子
たかた るみこ

Q 新城山田地区の約116ヘクタールの土地に大規模な太陽光発電所の建設が進められていますが、広大な森林を伐採する太陽光発電所は自然破壊そのものと思います。市は、当該事業についてどのように把握しているのかお示してください。

A 当該発電所については、県の環境影響評価条例に基づき、環境影響評価書を完成させた後、森林法に基づき林地開発等の許認可手続を経てから着工となりますが、市としては、市民の生活環境・自然環境が損なわれないよう、事業にかかわってまいります。



ごみ問題について

自民清風会 木戸 喜美男
きと きみお

Q 市のごみ分別事典は、内容が少なく、文字も小さく見にくいように感じました。ごみの分別区分の内容をふやして、市民がより見やすく、わかりやすいように更新できないものをお知らせください。

A 市では、議員の御意見を踏まえ、本市のごみ分別事典を更新する際には、他都市の事例を参考に内容の拡大・充実を図るとともに、文字を大きく、見やすいものに改善したものを作成し、市ホームページなどを通じて周知してまいります。



流通団地及び卸町会の 污水处理について

自民清風会 渋谷 勲

Q 造成当時、組合等が整備し、管理

を行っている青森総合流通団地及び卸町会の污水处理施設は、老朽化が進んでおり、その管理等に苦慮されていますが、今後の市の対応を示してください。

A 同団地については、市の下水道の

整備までにはまだ相当の期間を要するため、近隣の農業集落排水施設への接続の可能性を検討しております。また同町会については、老朽化した同施設を廃止し、市で下水道管を整備することも念頭に、地元住民や同施設を管理する組合との話し合いを進めてまいります。



就学前の発達障害児の 支援について

公明党 軽木 智雅子

Q 就学前に発達障害と気づかれない

まま就学すると、学校生活にうまく対応できず、いじめや不登校、ひきこもりといった二次的適応障害が起こる可能性があるため、子どもを守るためにも、早期発見、早期療養、早期支援の取り組みを強化充実するべきと思いますが、市の見解をお示してください。

A 市では、発達障害を早期に見

し、早期療養につなげることが重要と考えており、今後とも各関係機関と連携し、子どもの特性、発達段階、ライフステージに応じた切れ目のない支援に努めてまいります。



本庁舎の授乳室「パパマ マゾーン」について

自民清風会 小豆畑 緑

Q 本庁舎2階にある授乳室「パパマ

マゾーン」には、おむつ交換台と授乳のスペースしかないため、調乳用のお湯の提供や暖房機を設置すべきと思いますが、市の考えを示してください。

A 調乳用のお湯については、近くの

課のポットのお湯を提供することとしており、授乳室への暖房器具については、冬期間電気ストーブを設置しております。市としては、今後、この授乳室の周知を図るとともに、関係部局と連携し、市民の皆様が安全・快適に利用できるよう努めてまいります。

平成29年第1回青森市議会議員とカダる会 (議会報告会・意見交換会)を開催しました



議員とカダる会の様子(柳川庁舎)

平成29年5月21日(日)に、市内2会場(青森市役所柳川庁舎、アピオあおもり)で同時開催した「議員とカダる会」には、27名の市民の皆様にご参加いただき、まことにありがとうございました。当日は、ワールドカフェ形式により参加者の皆様と議員が各テーブルに同席し、リラックスした雰囲気の中で自由に意見交換をさせていただきました。当日の報告書は、市議会ホームページでごらんいただけます。

懲罰特別委員会が 設置されました

6月15日の奈良岡隆議員の一般質問中、大矢保議長の発言が無礼な言葉の使用であり、侮辱を受けたとして奈良岡隆議員から処分要求が提出され、また議員6名から大矢保議長に対する懲罰動議が提出されました。これを受け、6月22日に懲罰特別委員会を開催し審査した結果、それぞれ陳謝の懲罰を科すべきものと決定し、第2回定例会閉会日に本会議での議決を経て大矢保議員が議場にて陳謝文を朗読の上、陳謝しました。

会場に出された御質問など

議員とカダる会当日、会場でお答えできなかった御質問について、抜粋してお答えいたします。掲載できなかった御質問は、市議会ホームページに掲載しております。

Q 年金生活者ですが、4月はいろいろと経済的に物入りなので、固定資産税の納付期限を5月にできないか。

A 固定資産税の納期については、地方税法の規定により市税条例にて4月、7月、9月、12月と定められておりますが、納付が困難な方については、納税支援課において相談を受けております。

アウガ問題調査特別委員会が 設置されました

平成29年7月11日の第1回臨時会において、議員提出議案「アウガ問題の調査に関する決議」が議決され、同日付で地方自治法第100条の規定による調査権が付与された特別委員会が設置されました(経緯は、5ページ参照)。同委員会では、ことし3月21日に設置された「アウガ問題に関する調査特別委員会」で疑義の残った事項と、アウガが経営破綻に陥るに至るまでの行政関係等の関与の状況調査を行うこととしており、委員長には新政無所属の会の丸野達夫議員、副委員長には日本共産党の山脇智議員が選出されました。



アウガ問題調査特別委員会組織会

編集後記



委員 里村誠悦

リニューアルしたあおもり市議会だより「ぎかいの森」はいかがですか?市民の皆様にご覧いただき、議会活動をわかりやすくお伝えできるよう、工夫し、見やすい「ぎかいの森」にしていきたいと思います。ぜひ皆様の御意見、御感想をお寄せください。今後よろしくお願いいたします。